

掛川市オリーブ産地化計画

～オリーブのあるまち～



平成30年9月
掛川市

◆目次◆

1	計画の趣旨	1
2	オリーブの導入について	1
3	目標年次	2
4	これまでの取り組み	2
5	これからの目標	4
6	オリーブ経営モデル	6
7	基本となる方向性	8
8	主な取り組み	9
9	年度別計画	14
10	推進体制	16
11	推奨品種	17
12	作業カレンダー	18
13	オリーブ経営モデル	19



1 計画の趣旨

掛川市の一次産業は、事業収入の低迷による担い手不足・後継者不足と就業者の高齢化により、就業人口が減少しています。これに合わせ、耕作放棄地の増大等の問題が深刻化しています。こうした状況の中、耕作放棄地の解消や6次産業化によるアグリビジネスに関連する地域産業の活性化及び雇用の創出を目指します。

平均寿命が延びている中、健康寿命に注目が集まっています。その乖離は男性で約9年、女性で約12年となっており、健康寿命を平均寿命に近づけることが人生を有意義に過ごすことに必須であると考えられています。オリーブに含まれる成分は、代謝機能を改善し、高血圧や糖尿病防止など生活習慣病に役立つほか、ダイエット効果もあり、健康・美容に与える効果を持っています。中性脂肪を減らし、ガンリスク低下、老化防止の効果が認められる掛川のお茶と併用した健康戦略を展開することで、一次産業に対する好感度を高めることとともに健康寿命に貢献し「健康・子育て日本一」の推進を図り、掛川ブランドを確立することにより、オリーブ産地化の定着を目的とします。

2 オリーブの導入について

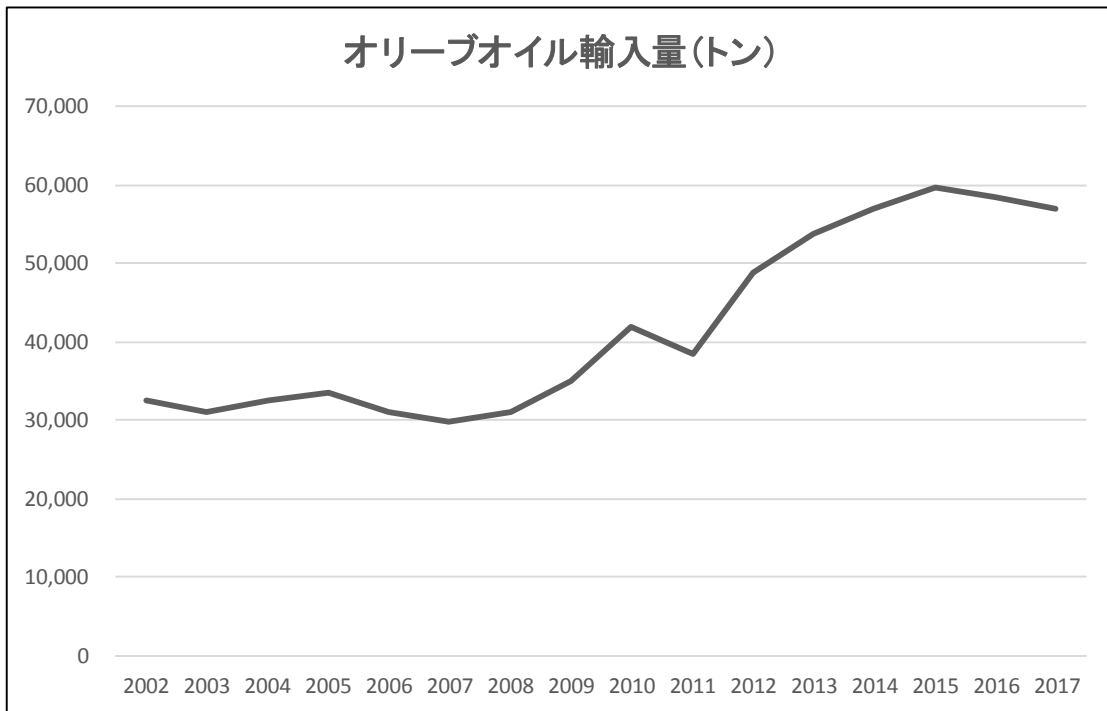
掛川市は、オリーブ栽培の条件である気温が年間平均気温17℃前後と比較的温暖で年間降水量も1,800~2,000ミリと栽培に適した気象条件を有しています。また、オリーブは比較的作業量の少ない作物とされ、市内の増加している耕作放棄地対策としての土地利用が図られるものであります。

近年、オリーブは健康志向の高まりにより、食、美容の面において、国内の需要は大きく増加しています。しかし、日本国内のオリーブオイルの消費量は年間5万1千トンであるものの、国内自給率はわずか0.3%に過ぎず、年々増加する消費量に国産オリーブの供給が追いついていないのが現状であります。

今後、オリーブ栽培面積は増加すると考えられ、農地の多面的機能の維持や耕作放棄地の解消、有害鳥獣の被害防止等農業面だけでなく、オリーブ公園などによる景観づくりにより、新たな街の価値創造が期待できます。

<オリーブ栽培条件>

	平均気温	年間降水量	年間日照時間
オリーブ栽培適地	14~16℃	1,000mm程度	2,000時間以上
掛川市	16℃	1,883.6mm	2,197.4時間



3 目標年次

本計画は、2018年度を基準年次として、2028年度を目標年次として計画を示します。

4 これまでの取り組み

掛川市は平成28年度から、市民に対しオリーブの苗木を配付し、実践ほ場としてきました。また、オリーブに関する健康講座を開催し、市民に対し、オリーブが身近に感じてもらえる環境づくりを行ってきました。

平成29年度には、オリーブの産地化を推進するため、「掛川オリーブ研究会」を発足しました。また、地方創生交付金を利用し、オリーブ畑の整備に対する補助金制度をスタートし、オリーブ栽培の拡大に努めました。

(1) 実績

① 植栽面積

植栽面積 (ha)	平成28年度	平成29年度
単年度	1.5	4.3
累計	1.5	5.8
内耕作放棄地累計	1.5	5.8

② 植栽本数

植栽本数（本）	平成 28 年度	平成 29 年度
単年度	600	1,506
累計	600	2,106

- ③ 苗木配付（実践ほ場）
- ④ ほ場整備指導
- ⑤ 栽培指導
- ⑥ 栽培講習会
- ⑦ 健康講演会
- ⑧ オリーブの販路等市場調査

(2) 課題

オリーブ栽培の推進開始から2年が経過しているものの、オリーブの収穫、加工の方向性が見えていないため、オリーブ栽培の拡大が難しい状況であります。また、栽培指導者・技術者が地元にはいないことから、容易に相談、対応ができないという面も新規に栽培することを難しくしています。このことから、収穫・加工・販売の方向性の確立、栽培指導者・技術者の育成は重要な課題であります。

5 これからの目標

(1) 基本理念

掛川市の農業は全国的な問題である農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加の例外ではありません。

これらの現状に対応するために、オリーブによる耕作放棄地の再生、6次産業化による魅力ある「掛川農業」を目指し、取り組みます。

(2) 目標

目標年次となっている2028年度の目標数値は次のとおりとします。

2023年度には計画の達成状況を検証し、中間見直しを行う予定にしています。

項目(目標)		現状 (2017年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
植栽面積	単年度(ha)	4.3	0.5	2.0	4.0	4.0
	累計(ha)	9.8	10.3	12.3	16.3	20.3
	内耕作放棄地(ha)	4.3	0.5	2.0	4.0	4.0
	累計(ha)	5.8	6.3	8.3	12.3	16.3
オリーブ植栽本数(本)		1,506	200	800	1,600	1,600
累計(本)		3,299	3,499	4,299	5,899	7,499
想定合計収穫量(kg)		0	0	0	600	3,900
想定オイル量(kg)		0	0	0	60	390
想定オイル売上(千円)		0	0	0	900	5,850

※想定オイル量は収穫量の10%、売上は1kg=15,000円で算出。

※2028年度の植栽面積(累計)は平坦農地20ha、中山間地域の茶畑転換30ha、小笠山の柑橘畑転換50haを想定。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
6.0	10.0	10.0	10.0	14.0	15.0	15.0
26.3	36.3	46.3	56.3	70.3	85.3	100.3
6.0	10.0	10.0	10.0	14.0	15.0	15.0
22.3	32.3	42.3	52.3	66.3	81.3	96.3
2,400	4,000	4,000	4,000	5,600	6,000	6,000
9,899	13,899	17,899	21,899	27,499	33,499	39,499
10,400	18,100	27,200	36,600	51,000	71,800	99,800
1,040	1,810	2,720	3,660	5,100	7,180	9,980
15,600	27,150	40,800	54,900	76,500	107,700	149,700

6 オリーブ経営モデル

- 【条件】 ①10a当たり40本植栽
 ②3年生苗木を初年度に植栽
 ③作物転換・土壌改良・地代の費用は含まない

年次		1	2	3	4	
収穫量	1本当たり収穫量 (kg/本)	0.0	0.0	0.0	1.0	
	総収穫量(kg)	0	0	0	40	
	油量(kg):収穫量の10%	0.0	0.0	0.0	4.0	
商品	販売価格	オリーブオイル 単価/kg	15,000	15,000	15,000	15,000
		計	0	0	0	60,000
	製造経費	単価/kg	6,500	6,500	6,500	6,500
		計	0	0	0	26,000
栽培原価	苗木代	4,000円/本	160,000	0	0	0
	肥料等	別紙参照	55,150	5,150	5,150	9,925
	計		215,150	5,150	5,150	9,925
単年度利益		-215,150	-5,150	-5,150	24,075	
累計利益		-215,150	-220,300	-225,450	-201,375	

注1: 人件費、商品販売経費、運賃は含まれていません。

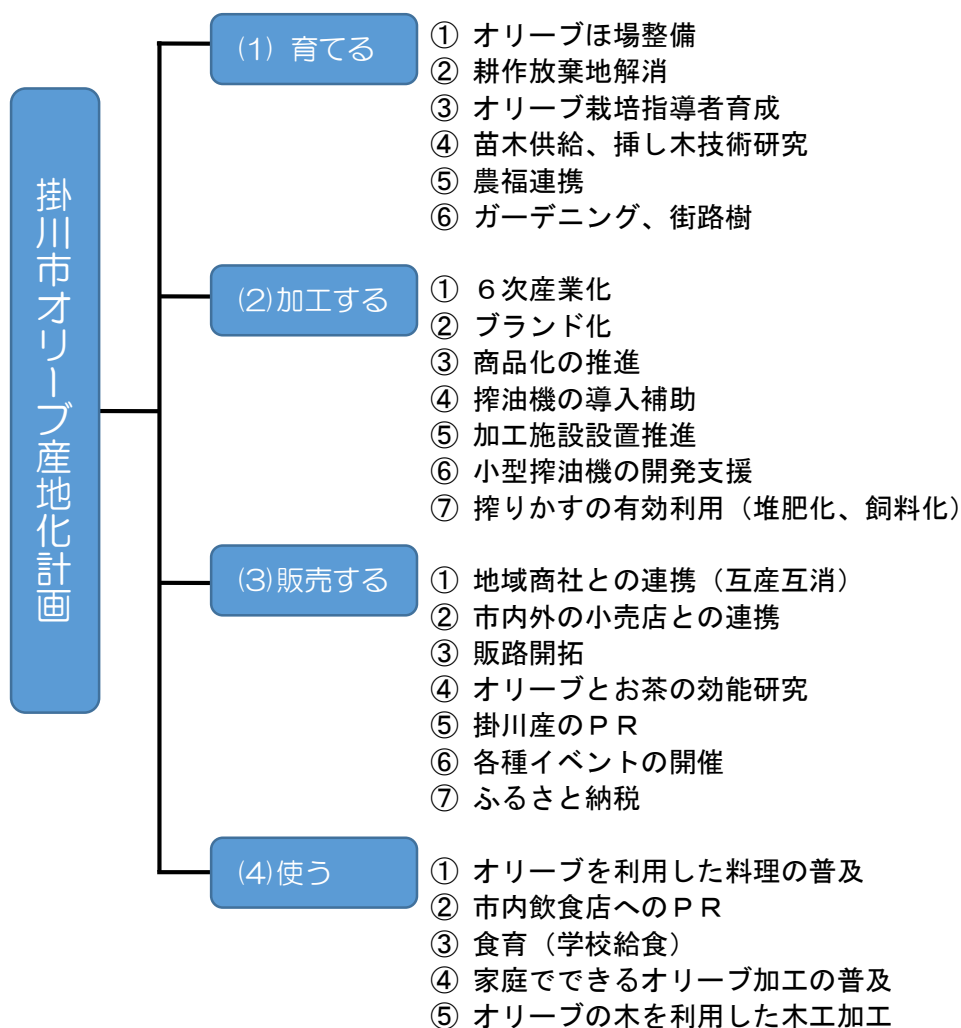
注2: 消費税は含まれていません。

注3: 商品製造経費の内訳は次の通り。

- ①1本200gの瓶詰め商品
- ②瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本
- ③搾油費用 1,000円/本

5	6	7	8	9	10
4.0	7.0	10.0	10.0	10.0	10.0
160	280	400	400	400	400
16.0	28.0	40.0	40.0	40.0	40.0
15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
240,000	420,000	600,000	600,000	600,000	600,000
6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
104,000	182,000	260,000	260,000	260,000	260,000
0	0	0	0	0	0
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
126,075	228,075	330,075	330,075	330,075	325,200
-75,300	152,775	482,850	812,925	1,143,000	1,468,200

7 基本となる方向性



8 主な取り組み

(1) 育てる

オリーブ栽培は、お茶に比べ比較的作業量が少ない傾向があるとともに、6次産業化を視野に入れることから、後継者不足の解消や新規就農者の増加が期待されます。お茶等との複合経営による、作物の単価減少に対応できる安定した農業経営につながるようオリーブ栽培を推進していきます。

このことから、オリーブ栽培の推進により耕作放棄地の解消などに取り組みます。

また、現在、掛川市内にはオリーブの栽培を指導できる人材が存在しないことから、掛川の地にあった栽培指導のできる指導者の育成を行い、栽培技術の向上を図ります。

① オリーブほ場整備

市内の農地は茶園など様々な土壌で生産を行ってきたほ場が多く、オリーブ栽培に適した土壌改良が必要な場所があります。そのようなほ場に対し、適切な整備を行うことを推進します。

② 耕作放棄地解消

耕作放棄地への植栽により、経営面積の拡大を図るとともに、市内の景観を守り、有害鳥獣の被害予防を行うことにより、安心できる環境づくりにつなげます。

③ オリーブ栽培指導者育成

オリーブを栽培する土壌の改良や害虫対策、剪定等総合的な指導技術を持つ人材の育成を図ります。

④ 苗木供給、挿し木技術研究

作物転換や耕作放棄地対策として苗木の購入費用の一部を助成します。また、大学等研究機関と挿し木苗、接ぎ木苗の研究を進め、苗木育成の技術を確立し、栽培者へ育成方法を広めていきます。挿し木の技術の継続的な向上のため、市においても研究を行っていきます。

⑤ 農福連携

社会福祉法人や特例子会社等と連携し、障がい者雇用を推進します。

また、農業を利用した療養により、社会復帰等につなげます。

⑥ ガーデニング、街路樹

オリーブの街掛川を推進するのにあたり、一家に一本オリーブを家庭の庭に植栽することや、街路樹へのオリーブ植栽、公共施設や



工場等へのオリーブ植栽の推進など、普段の生活の中にオリーブが身近に感じられる環境を作っていきます。

(2) 加工する

掛川市では、市内で生産されたオリーブを「掛川産オリーブ」としてブランド化し、市内で加工、販売を行う6次産業化を目指します。そのため、市内で搾油できる体制を整えます。

オリーブは食用オイルだけでなく、果実の加工、葉の加工、化粧品への活用が可能であり、また、搾油後の搾りかすは肥料化、飼料化もできることから循環型の農業経営を行うことができます。その他、剪定枝等を利用した商品の開発など様々な取り組みを推進します。

① 6次産業化

生産者が安定した経営を継続できるよう、生産から加工、販売までの顔が見える付加価値の商品の提供を推進します。

② ブランド化

掛川産のオリーブの成分分析、官能分析を行い、その特徴から掛川ならではのブランド化を研究し、ブランドの定義を定めていきます。

③ 商品化の推進

県内の研究機関と連携し、成分分析、官能分析を行い、オリーブの効能を生かし、特産の掛川茶との連携商品により、他にはない、掛川オリジナルの商品としてのブランド商品を開発していきます。また、商品研究に伴い、オリーブソムリエ、オリーブ鑑定士、搾油技術者の育成を進め、高品質のオリーブ商品の生産につなげていきます。

④ 搾油機の導入補助

市内での加工を進めるにあたり、搾油機設置の支援をします。搾油機の設置生産者・企業との協力により、市内生産者が安定的に栽培、加工が可能になる体制を推進します。



⑤ 加工施設設置推進

搾油機導入と並行し、加工施設設置生産者・企業との協力により、商品加工の安定化を図ります。

⑥ 小型搾油機の開発支援

県内の工業高校、大学に国産の小型搾油機の開発を依頼し、その支援を行います。

⑦ 搾りかすの有効利用（堆肥化、飼料化）

オリーブの資源を有効利用し、安定的な収入につなげるため、堆肥化、飼料化を推進します。堆肥化により、掛川型循環農業を、飼料化により、掛川産オリーブ牛、オリーブ豚、オリーブ鶏、オリーブ卵（鶏卵）、オリーブ牛乳（乳牛）などの新たなブランドの育成につなげていきます。

(3) 販売する

全国的にオリーブの栽培が広がる昨今、他地域との差別化を図り、「掛川産オリーブ」のブランド化により、販路を拡大します。また、「互産互消」により、他地域にはないネットワークの利用による全国展開を推進します。

① 地域商社との連携（互産互消）

地域商社との連携（互産互消）により、他地域とは異なるネットワークによる販路開拓を進めます。

② 市内外の小売店との連携

掛川ならではの商品として、市外の方には「お土産」として、市内の方には地産地消の一品として、購入してもらえ体制づくりを推進します。

③ 販路開拓

地域商社などのネットワークにより、新たな販路開拓を推進します。市内の飲食店や学校給食など身近な流通経路へも推進します。また、食用だけでなく、薬用の販路、新たな市場開拓を行い、広く活用できる環境を作ります。

④ オリーブとお茶の効能研究

健康食品として認知されているオリーブオイルやオリーブの実、葉。同じく健康面において優れている掛川名産のお茶。それぞれが持つ効能をより活かし、相乗効果が生まれる商品として販売を目指していきます。

⑤ 掛川産のPR

お茶だけでなく、オリーブの街としての認知度を高めるため、マスコミなど情報発信によりPRを行います。



⑥ 各種イベントの開催

掛川市民へのオリーブ啓発イベントにより、「掛川オリーブ」の認知度を高め、オリーブを利用した料理などオリーブのある生活を市民に広げていきます。また、市内イベントだけでなく、近隣市町のイベントに参加し、PRを推進し、消費拡大につなげていきます。また、互産互生によるイベントにも参加、知名度を高めていきます。

⑦ ふるさと納税

ふるさと納税の返礼品にラインアップし、認知度を高めていきます。

(4) 使う

食習慣の中で、オリーブを使う機会はまだまだ少ないのが現状です。そのようなかで、身近な食材として日頃の食卓にのぼる料理などの啓発や食育推進などに取り組みます。

① オリーブを利用した料理の普及

オリーブオイルなどはイタリア料理など限定的な利用となっています。和食への活用により、幅広くオリーブを利用する環境をつくり、普及を推進します。

② 市内飲食店へのPR

イタリア料理をはじめとしたオリーブオイルを使用する飲食店だけでなく和食などオリーブオイルの利用頻度が低い飲食店に対して、掛川産のオリーブオイルをPRし、店舗での利用を推進します。



③ 食育（学校給食）

学校給食で掛川産オリーブを利用し、地産地消、食育の推進に取り組みます。

④ 家庭でできるオリーブ加工の普及

身近な食材として、認識してもらうために、家庭でオリーブオイルを搾ったり、新漬けを作るなど、オリーブが身近なものと感じられる環境づくりに取り組みます。

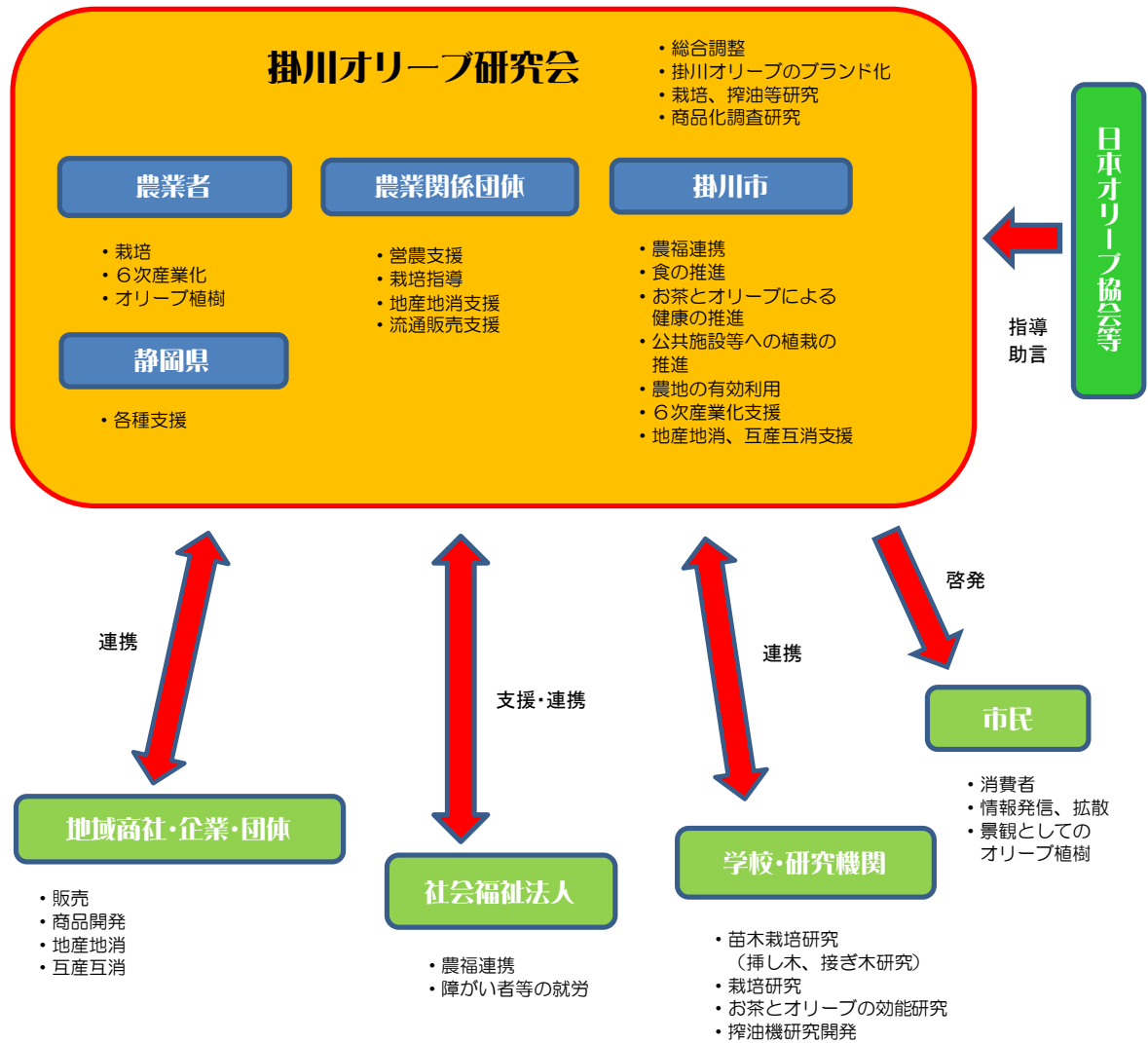
⑤ オリーブの木を利用した木工加工

捨てるところのないオリーブの活用として、オリーブの剪定枝などを利用した箸などのカトラリーづくりなどの講座を開催し、「食べる」だけでなくオリーブの魅力を伝えることに取り組みます。

9 年度別計画

大項目	中項目	小項目
(1) 育てる	① オリーブほ場整備	ほ場整備支援
	② 耕作放棄地解消	
	③ オリーブ栽培指導者育成	
	④ 苗木供給、挿し木技術研究	購入支援 育苗研究支援(挿し木、接ぎ木) 育苗(市役所施設)
	⑤ 農福連携	連携研究 連携支援(直接雇用) 連携支援(特例子会社)
	⑥ ガーデニング、街路樹	一家に一本オリーブ運動 公共施設オリーブ植樹推進 工場等オリーブ植樹推進
(2) 加工する	① 6次産業化	研究
	② ブランド化	ブランド化研究・掛川ブランド定義検討
	③ 商品化の推進	オイル成分分析 オイル官能分析 ニーズ把握・市場研究 搾油技術者育成 オリーブソムリエ・鑑定士育成 商品研究 商品化
	④ 搾油機の導入補助	
	⑤ 加工施設設置推進	
	⑥ 小型搾油機の開発支援	
	⑦ 搾りかすの有効利用 (堆肥化、飼料化)	堆肥化研究 飼料化研究 堆肥生産 飼料生産
	⑧	
	⑨	
	⑩	
(3) 販売する	① 地域商社との連携(互産互消)	
	② 市内外の小売店との連携	
	③ 販路開拓	食用販路 薬用販路 市場開拓
	④ オリーブとお茶の効能研究	
	⑤ 掛川産のPR	
	⑥ 各種イベントの開催	
	⑦ ふるさと納税	
(4) 使う	① オリーブを利用した料理の普及	料理教室開催 家庭教育学級への啓発
	② 市内飲食店へのPR	
	③ 食育(学校給食)	給食利用の検討 給食利用の実施
	④ 家庭でできるオリーブ加工の普及	家庭教育学級への啓発 小学生体験教室(冬期)
	⑤ オリーブの木を利用した木工加工	家庭教育学級への啓発 小学生体験教室

10 推進体制



1 1 推奨品種

掛川市の気候や病害虫など栽培への影響、オイルを中心とした加工を目指し、以下の5品種を栽培推奨しています。また、当市はイタリア・ペーザロ市と姉妹都市であることから、イタリア品種に限定することにより小豆島との差別化をはかり、掛川ならではのオリーブ「掛川オリーブ」としてのストーリーを描くものとしします。

(1) フラントイオ



原産国：イタリア中部
利 用：オイル、テーブルオリーブ
特 徴：病気に強い。世界各地で栽培。開張性。
受粉樹にもなる。採油率が高い。
自家和合性あり。

(2) レッチーノ



原産国：イタリア・トスカーナ地方
利 用：オイル、テーブルオリーブ
特 徴：病害虫に強い。気候の変化に順応。開張性。
枝離れ良く収穫しやすい。
採油率が比較的高い。

(3) ペンドリーノ



原産国：イタリア・トスカーナ地方
利 用：オイル
特 徴：成熟が早い。開花期間長い。受粉樹。開張性。
低温に強い。枝離れ良く収穫しやすい。

(4) タジャスカ



原産国：イタリア・トスカーナ地方
利 用：オイル、テーブルオイル
特 徴：成熟が早い。海岸沿いの栽培にも強い。

(5) マウリーノ



原産国：イタリア・トスカーナ地方
利 用：オイル
特 徴：受粉樹。成熟が早い。干ばつ、低温に強い。

1.2 作業カレンダー

◆オリーブ作業カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な作業	←→ 強剪定(更新剪定)		←→ 植え付け(春)						←→ 植え付け(秋)			
	←→ 太木ざし					←→ 緑枝さし			←→ 収穫(テーブルオリーブ)			
		←→ 施肥				←→ 施肥			←→ 施肥		←→ 収穫(オイル)	

◆お茶作業カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な作業				←→ 一番茶		←→ 二番茶				←→ 秋番茶		
		←→ 施肥		←→ 施肥		←→ 施肥		←→ 施肥		←→ 施肥		
		←→ 定植					←→ 整枝		←→ 深耕			
		←→ 整枝			←→ 更新				←→ 深耕		←→ 整枝	
		←→ 深耕										

13 (1) オリーブ経営モデル【オイル販売】

○経営体規模

組織形態：個人(オリーブ単独)

人数：2名

圃場面積：200a = 2ha(800本)

		年次	1	2	3	
収穫量	1本当たり収穫量(kg/本)		0.0	0.0	0.0	
	総収穫量(kg)		0	0	0	
	油量(kg):収穫量の10%		0.0	0.0	0.0	
	油量(ml)		0	0	0	
商品	販売価格(円)	オリーブオイル(100ml 1,500円)	0	0	0	
	販売本数(本)		0	0	0	
	製造経費(円)	瓶・ラベル・瓶詰め代		0	0	0
		搾油費用		0	0	0
		計		0	0	0
栽培原価	苗木代(円)	4,000円/本	3,200,000	0	0	
	肥料等(円)	10アール当たりの単価(円)	55,150	5,150	5,150	
		計	1,103,000	103,000	103,000	
	一般管理費(円)		1,657,000	1,657,000	1,657,000	
		栽培原価合計	5,960,000	1,760,000	1,760,000	
単年度利益			-5,960,000	-1,760,000	-1,760,000	
累計利益			-5,960,000	-7,720,000	-9,480,000	

注1: 人件費、商品販売経費、運賃は含まれていません。

注2: 消費税は含まれていません。

注3: 商品製造経費の内訳は次の通り。

①1本100mlの瓶詰め商品 ②瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本 ③搾油費用 3,000円/20kg

4	5	6	7	8	9	10
1.0	4.0	7.0	10.0	10.0	10.0	10.0
800	3,200	5,600	8,000	8,000	8,000	8,000
80.0	320.0	560.0	800.0	800.0	800.0	800.0
88,888	355,555	622,222	888,888	888,888	888,888	888,888
1,332,000	5,332,500	9,333,000	13,332,000	13,332,000	13,332,000	13,332,000
888	3,555	6,222	8,888	8,888	8,888	8,888
266,400	1,066,500	1,866,600	2,666,400	2,666,400	2,666,400	2,666,400
120,000	480,000	840,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
386,400	1,546,500	2,706,600	3,866,400	3,866,400	3,866,400	3,866,400
0	0	0	0	0	0	0
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	296,000
1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000
1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,953,000
-909,900	1,930,500	4,770,900	7,610,100	7,610,100	7,610,100	7,512,600
-10,389,900	-8,459,400	-3,688,500	3,921,600	11,531,700	19,141,800	26,654,400

13 (2) オリーブ経営モデル【オイル・果実加工販売】

○経営体規模

組織形態：個人(オリーブ単独)

人数：2名

圃場面積：200a = 2ha(800本)

年次		1	2	3	
収穫量	1本当たり収穫量(kg/本)	0.0	0.0	0.0	
	総収穫量(kg)	0	0	0	
	オイル用(kg)	総収穫量の90%	0	0	0
	新漬け用(kg)	総収穫量の10%	0	0	0
	油量(kg): 収穫量の10%	0.0	0.0	0.0	
	油量(ml)	0	0	0	
商品	オイル販売価格(円)	オリーブオイル(100ml 1,500円)	0	0	0
	オイル販売本数(本)		0	0	0
	新漬け販売価格(円)	新漬け(50g 700円)	0	0	0
	新漬け販売本数(本)		0	0	0
	製造経費(円)	瓶・ラベル・瓶詰め代(オイル)	0	0	0
		搾油費用	0	0	0
		新漬け材料費等	0	0	0
瓶・ラベル・瓶詰め代(新漬け)		0	0	0	
計	0	0	0		
栽培原価	苗木代(円)	4,000円/本	3,200,000	0	0
	肥料等(円)	10アール当たりの単価(円)	55,150	5,150	5,150
		計	1,103,000	103,000	103,000
	一般管理費(円)		1,657,000	1,657,000	1,657,000
	栽培原価合計	5,960,000	1,760,000	1,760,000	
単年度利益		-5,960,000	-1,760,000	-1,760,000	
累計利益		-5,960,000	-7,720,000	-9,480,000	

注1: 人件費、商品販売経費、運賃は含まれていません。

注2: 消費税は含まれていません。

注3: オリーブオイル商品製造経費の内訳は次の通り。

①1本100mlの瓶詰め商品 ②瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本 ③搾油費用 3,000円/20kg

注4: オリーブ新漬け商品製造経費の内訳は次の通り。

①1瓶50gの商品 ②新漬け材料費 1,000円/kg ③瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本

4	5	6	7	8	9	10
1.0	4.0	7.0	10.0	10.0	10.0	10.0
800	3,200	5,600	8,000	8,000	8,000	8,000
720	2,880	5,040	7,200	7,200	7,200	7,200
80	320	560	800	800	800	800
72.0	288.0	504.0	720.0	720.0	720.0	720.0
80,000	320,000	560,000	800,000	800,000	800,000	800,000
1,200,000	4,800,000	8,400,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
800	3,200	5,600	8,000	8,000	8,000	8,000
1,120,000	4,480,000	7,840,000	11,200,000	11,200,000	11,200,000	11,200,000
1,600	6,400	11,200	16,000	16,000	16,000	16,000
240,000	960,000	1,680,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
108,000	432,000	756,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000
80,000	320,000	560,000	800,000	800,000	800,000	800,000
480,000	1,920,000	3,360,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
908,000	3,632,000	6,356,000	9,080,000	9,080,000	9,080,000	9,080,000
0	0	0	0	0	0	0
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	296,000
1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000
1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,953,000
-443,500	3,792,500	8,028,500	12,264,500	12,264,500	12,264,500	12,167,000
-9,923,500	-6,131,000	1,897,500	14,162,000	26,426,500	38,691,000	50,858,000

13 (3) オリーブ経営モデル【お茶+実販売（オイル用）】

○経営体規模

組織形態：個人（お茶、オリーブ）

人数：2名

圃場面積：オリーブ 200a(800本)、お茶 100a(生葉生産)

【オリーブ】

年次		1	2	3	
収穫量	1本当たり収穫量(kg/本)	0.0	0.0	0.0	
	総収穫量(kg)	0	0	0	
	油量(kg): 収穫量の10%	0.0	0.0	0.0	
	油量(ml)	0	0	0	
	想定販売価格(円) 600円/kg	0	0	0	
栽培原価	苗木代(円)	4,000円/本	3,200,000	0	0
	肥料等(円)	10アール当たりの単価(円)	55,150	5,150	5,150
		計	1,103,000	103,000	103,000
	一般管理費(円)		417,000	417,000	417,000
	栽培原価合計	4,720,000	520,000	520,000	
単年度利益		-4,720,000	-520,000	-520,000	
累計利益		-4,720,000	-5,240,000	-5,760,000	

【お茶】

収入合計	3,575,040	3,575,040	3,575,040
支出合計	2,009,515	2,009,515	2,009,515
単年度利益	1,565,525	1,565,525	1,565,525
累計利益	1,565,525	3,131,050	4,696,575

【総合計】

単年度利益	-3,154,475	1,045,525	1,045,525
累計利益	-3,154,475	-2,108,950	-1,063,425

注1: 人件費、商品販売経費、運賃は含まれていません。

注2: 消費税は含まれていません。

注3: 商品製造経費の内訳は次の通り。

①1本100mlの瓶詰め商品

②瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本

③搾油費用 6,000円/20kg → 700円/kg

注4: 想定オイル販売価格 100ml 1,500円 → 1,665円/kg

4	5	6	7	8	9	10
1.0	4.0	7.0	10.0	10.0	10.0	10.0
800	3,200	5,600	8,000	8,000	8,000	8,000
80.0	320.0	560.0	800.0	800.0	800.0	800.0
88,888	355,555	622,222	888,888	888,888	888,888	888,888
480,000	1,920,000	3,360,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
0	0	0	0	0	0	0
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	296,000
417,000	417,000	417,000	417,000	417,000	417,000	417,000
615,500	615,500	615,500	615,500	615,500	615,500	713,000
-135,500	1,304,500	2,744,500	4,184,500	4,184,500	4,184,500	4,087,000
-5,895,500	-4,591,000	-1,846,500	2,338,000	6,522,500	10,707,000	14,794,000

3,575,040	3,575,040	3,575,040	3,575,040	3,575,040	3,575,040	3,575,040
2,009,515	2,009,515	2,009,515	2,009,515	2,009,515	2,009,515	2,009,515
1,565,525	1,565,525	1,565,525	1,565,525	1,565,525	1,565,525	1,565,525
6,262,100	7,827,625	9,393,150	10,958,675	12,524,200	14,089,725	15,655,250

1,430,025	2,870,025	4,310,025	5,750,025	5,750,025	5,750,025	5,652,525
366,600	3,236,625	7,546,650	13,296,675	19,046,700	24,796,725	30,449,250

13 (4) オリーブ経営モデル【オイル販売＋オーナー制度】

○経営体規模

組織形態：個人(オリーブ単独)

人数：2名

圃場面積：200a = 2ha(800本)

オーナー制度：1本5,000円 200本(返礼100mlオイル 2本)

		年次	1	2	3	
収穫量	1本当たり収穫量(kg/本)		0.0	0.0	0.0	
	総収穫量(kg)		0	0	0	
	油量(kg)：収穫量の10%		0.0	0.0	0.0	
	油量(ml)		0	0	0	
商品	本数(本)		0	0	0	
	オーナー制度	1本5,000円×200本	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	(オーナー制度返礼 オリーブ1本につき2本のオイル)		0	0	0	
	販売本数(本)		0	0	0	
	販売価格(円)	オリーブオイル(100ml 1,500円)	0	0	0	
	製造経費(円)	瓶・ラベル・瓶詰め代		0	0	0
		搾油費用		0	0	0
計		0	0	0		
栽培原価	苗木代(円)	4,000円/本	3,200,000	0	0	
	肥料等(円)	10アール当たりの単価(円)	55,150	5,150	5,150	
		計	1,103,000	103,000	103,000	
	一般管理費(円)		1,657,000	1,657,000	1,657,000	
		栽培原価合計	5,960,000	1,760,000	1,760,000	
単年度利益			-4,960,000	-760,000	-760,000	
累計利益			-4,960,000	-5,720,000	-6,480,000	

注1：人件費、商品販売経費、運賃は含まれていません。

注2：消費税は含まれていません。

注3：商品製造経費の内訳は次の通り。

①1本100mlの瓶詰め商品 ②瓶代、ラベル代、瓶詰め作業 300円/本 ③搾油費用 3,000円/20kg

4	5	6	7	8	9	10
1.0	4.0	7.0	10.0	10.0	10.0	10.0
800	3,200	5,600	8,000	8,000	8,000	8,000
80.0	320.0	560.0	800.0	800.0	800.0	800.0
88,888	355,555	622,222	888,888	888,888	888,888	888,888
888	3,555	6,222	8,888	8,888	8,888	8,888
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
400	400	400	400	400	400	400
488	3,155	5,822	8,488	8,488	8,488	8,488
732,000	4,732,500	8,733,000	12,732,000	12,732,000	12,732,000	12,732,000
266,400	1,066,500	1,866,600	2,666,400	2,666,400	2,666,400	2,666,400
120,000	480,000	840,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
386,400	1,546,500	2,706,600	3,866,400	3,866,400	3,866,400	3,866,400
0	0	0	0	0	0	0
9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	9,925	14,800
198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	198,500	296,000
1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000	1,657,000
1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,855,500	1,953,000
-509,900	2,330,500	5,170,900	8,010,100	8,010,100	8,010,100	7,912,600
-6,989,900	-4,659,400	511,500	8,521,600	16,531,700	24,541,800	32,454,400

**掛川市オリーブ産地化計画
～オリーブのある街～**

平成 30 年 9 月策定

掛川市（環境経済部農林課）
掛川市長谷一丁目 1 番地の 1
電話 0537-21-1147